

基本情報

- ◆ 認定年度: 2018(平成30)年
- ◆ 設置時期: 2019(令和元)年9月
- ◆ 実施部局: 医学研究科
- ◆ 相手方機関: カリフォルニア大学サンディエゴ校(米国)
- ◆ 設置タイプ: アウトバウンド型
- ◆ 設置目的: UCSDのトップクラスの研究者とCenter for Novel Therapeutics (CNT) のフロアを共有、共同研究、産学連携、教育連携、グローバル人材育成を加速する。
- ◆ 設置場所: カリフォルニア大学サンディエゴ校(米国・サンディエゴ)
- ◆ 活動内容: 医学分野における国際共同研究を推進する。サンディエゴに存在する様々なアカデミア拠点や産業界との連携強化が期待できる。

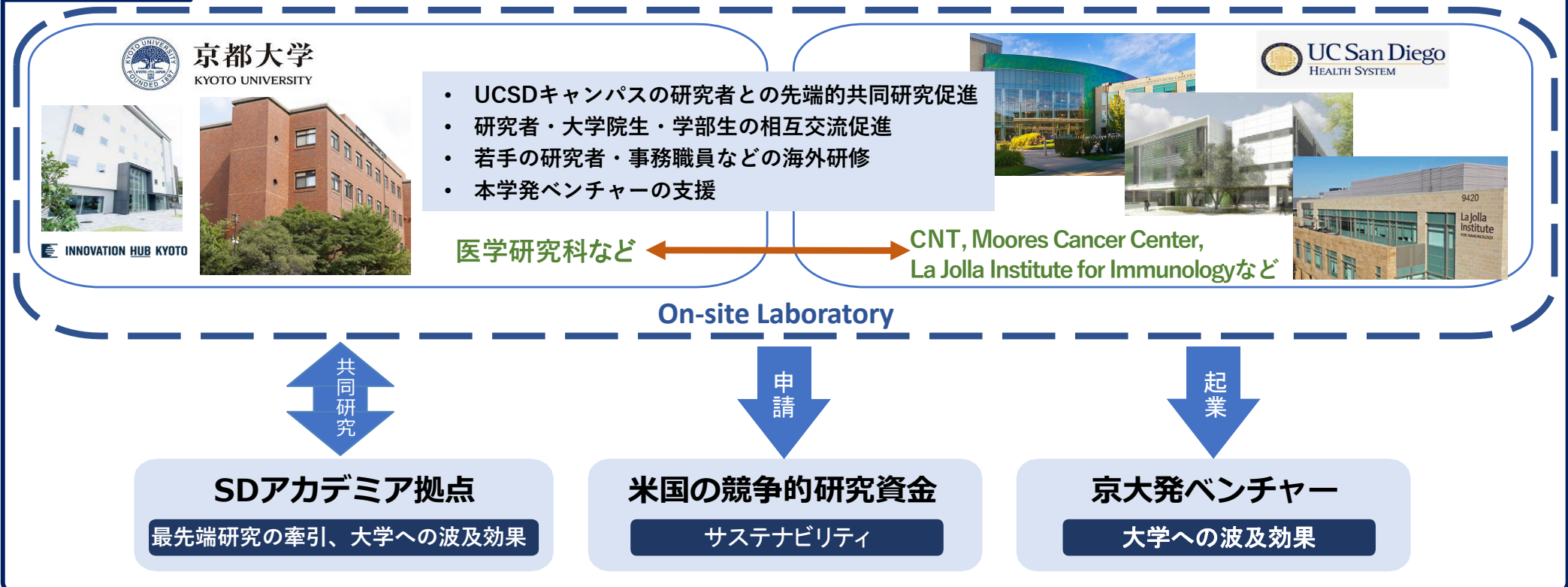
活動による大学全体への波及効果

- 国際共同研究促進
- 優秀な留学生、研究者の獲得
- 学生・職員の留学・国際交流支援
- 京大発ベンチャーの支援

【2025年度】

- KURC-SD が存在するUCSD School of MedicineキャンパスにはMoore's Cancer Center、La Jolla免疫研究所 (LI)など複数の研究機関があり、免疫研究において世界的に著名な研究者が多数在籍する。本環境を生かし、ヒト免疫学を中心とした共同研究プログラムをたちあげ、NIHなどのグラントに共同応募に向けた準備を開始する。最先端研究の牽引、京都大学との連携強化が期待される。
- 本施設が研究環境の整ったオープンスペースとして機能することにより、本学からの入居希望者に簡便かつ低予算でプロジェクトを開始する環境を提供する。

活動概要



2024年度の主な活動実績

①第6回京都大学ライフサイエンスショーケース@San Diego 2025 (KULS2025) (2025年2月20日-21日)

- 本学を始めとする国内アカデミア発医療領域イノベーションの海外展開支援を目的とし、医学研究科及び本学産学連携支援部門主催、名古屋大学メディカル AI 人材養成産学協働拠点、LINK-J、JETROの共催でピッチイベントを開催
- 医療デバイス及び創薬開発に関わる国内外ベンチャー企業11社が登壇、国内外から米国での起業に知見のあるコメンテーター11名、ベンチャーキャピタルや投資家、製薬企業関係者を含む104名が参加。ピッチイベント後のレセプションでは、登壇企業及び参加者間での活発な情報交換や事前交渉が行われた。
- 2月21日開催の教育セミナーではピッチイベント登壇企業を対象に、サンディエゴ在住の弁護士、会計士、投資家による米国での起業に関する講義を実施。



②その他特筆すべき成果

- KURC-SDを足場とするヒト免疫学に関する国際研究連携を進めるため、AMED—SCARDA事業を利用したUC San Diego、La Jolla免疫研究所 (LJI)、千葉大学と包括的な提携協定に向けて協議を開始した。
- 京都大学ライフサイエンスショーケースに参加した本学発のベンチャーが、参加により培われた人脈を活かし、開発品の米国における臨床治験実施のため、AMED創薬ベンチャーエコシステム強化事業の支援を元に、米国への本社移転と事業展開を進めた。
- 本施設運営により培われた人脈を活用して開始された、ヒトiPS細胞(人工多能性幹細胞)由来神経細胞移植によるパーキンソン病臨床試験が実施中である。